

台風第15号による被害への早期対応！

道路・河川の堆積土砂等の除去、被災施設の修繕など

令和7年度 補正予算

災害見舞経費

Q 対象見込み件数は。

A 災害見舞金を211件、災害援護資金貸付を2件見込んでいます。

道路維持費

Q 予算の主な内訳は。

A 中港の地下道冠水対策システム設置2500万円、道路に堆積した土砂等除去720万円、舗装修繕等400万円などである。

Q 地下道の冠水対策システムとは。

A 地下道が冠水した場合に水を自動で検知し、入口の手前で遮断機による通行止を行うもの。

農地有効利用推進事業費

Q 被災した農業用ハウス等の数は。

A 今のところ14件把握している。

Q 被災者への助成案内の方法は。

A 農業者の方へ直接通知を行う方法や農協の部農会を通じた案内を考えている。

令和6年度 決算（総務文教分科会 所管分）

防災機器整備費

Q 支出金額の主な内訳は。

A 災害対応用ドローンが約190万円、教習用ドローンが約96万円、地域防災無線192局の整備が約5720万円となっている。

Q 地域防災無線の耐用年数は。

A 環境にもよるが、基本的に15年前後の耐用年数となる。ただし、バッテリーは2年に1回の更新をする運用としている。

はたちの集い開催費

Q 決算額が前年度に比べて29.2%増になった要因は。

A 1会場で1回の開催としたが、ライブ配信等委託費用、スベシャルゲスト出演費用、新成人への記念品や記念誌などの費用が物価高騰の影響を受けたため。

Q 対象者数と実際の参加者数は。

A 対象者1443人に対し、参加者1050人であった。

学校給食食料費、学校給食食料費高騰対策事業費

Q 物価高騰対策として、市の補助がどの位あるのか。

A 小学校は1食当たり保護者負担額256円で、それに対し物価高騰分として市が60円を負担、中学校は1食当たり保護者負担額302円で、それに対し物価高騰分として92円を市が負担している。

スマートシティ推進事業費

Q 支出金額の主な内訳は。

A 主な支出は、スマートシティAIZUのプラットフォームに関する地図情報の構築費用及びそれに関する運用保守費用である。

Q スマートマップ焼津の活用方法は。

A GISでピンポイントの場所指定ができる地図情報システムであり、市独自の防災、施設、観光、都市計画などの情報を地図に落とし、市民の皆様が確認できるようにする。

令和6年度 決算（市民福祉分科会 所管分）

省エネ家電買い換え促進 事業費（物価高騰重点支援）

Q 利用された省エネ家電の買い換えて多かったものは。

A 1番は冷蔵庫、2番がエアコン、3番がテレビであった。

Q 全ての申請について予算内で対応できたのか。

A 予算の枠を示し、抽選という形で予算の中に収まるよう対応した。

不法投棄対策事業費

Q 不法投棄の数の推移は。

A 令和3年度が271件、令和4年度が239件、令和5年度が151件、令和6年度は170件で、数は減ってきている。

Q パトロール等の対策の状況は。

A パトロールは、職員が毎日実施している。その他にも環自協の支部長と一緒に年2回実施し、回収するとともに、看板設置や環自協だよりに掲載し、注意を促している。

困りごとマルっとサポート （重層的支援体制）事業費

Q 令和6年度の会議の実施回数は。

A 重層的支援会議及び支援会議調整会議を52回開催した。

Q 会議開催の基準は。

A 世帯や個人が抱える問題が複雑化、複合化して単一の支援機関の持つネットワークのみでは解決ができないような課題を抱えている場合に、関わる多分野の関係者を集めて情報共有し、支援の方向性を検討するという場であり、そういったケースについて開催する。

就学前言語障害児指導費

Q 幼児ことばの教室に配置する4名の指導員の資格は。

A 資格は不問であるが、研修等で経験を積み、保育・幼稚園課の指導主事と連携し、指導している。

令和6年度 決算（建設経済分科会 所管分）

焼津駅駐輪場維持管理費

Q 令和6年度の利用実績は。

A 北口と南口の両方の駐輪場を合わせた合計利用台数は、31万8560台で、前年度比2万5450台の減、6.1%の減となった。また、使用料収入は、2179万8120円で、前年度比55万7070円の減、2.5%の減となった。

Q 北口と南口それぞれの利用状況は。

A 前年度と比べた利用台数は、北口が10.7%の減、南口が2.2%の減となった。

デマンドタクシー運営事業費

Q 令和6年度の地区ごとの年間利用者数と市が負担する一人当たりの単価は。

A 焼津インター周辺地区は、利用者数459名で、一人当たり約3370円、大島・三和地区は、利用者数131名で、一人当たり約1745円、大井川地区は、利用者数3516名で、一人当

合併処理浄化槽設置事業費

Q 令和6年度の見込数と設置実績は。

A 全体で580基の見込みにに対し、484基の実績となった。

Q 必要数に対する設置数は。

A 民間主導で実施しており、市としては補助金の充実を図っているが、設置数の目標は設定していない。

SIC周辺整備事業費

Q 旅費の支出目的は。

A インター周辺のまちづくりについて、茨城県つくばみらい市、三重県多気町の先進地へ視察に行った。

Q コンサルタントへの委託内容は。

A 市場調査・企業ヒアリング・先進市の視察などを行った上での土地利用構想のまとめ、準備組合の会議開催支援、関係機関協議の資料作成の3つが主な内容である。

※予算決算審査特別委員会について：全議員で構成し、一般会計予算及び決算に関する議案を審査します。
令和4年度から当初予算と決算は分科会（各常任委員会単位）、補正予算は全議員で審査しています。